



169 「ヘビの足、クジラの足」11月27日

午後。藤田真弓先生から

「田中先生、理科って面白いですね。いつも理科レポート読んで勉強させてもらっています。」
「恐縮です。」

「ヘビって目にウロコがあるんですね。そういえば、目のところが白っぽいと思い出しました。」

「大きなヘビには、体に後ろ足のなごりが残っている場合があります。」 下図の白→

「足、あるんですか？」

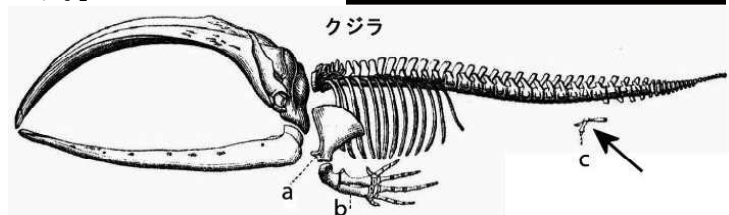
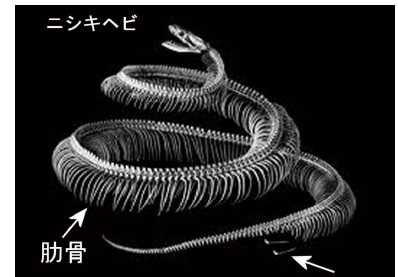
「ヘビも昔は4本足でした。穴の中で生活するようになって、足がじゃまになりました。そのため足がなくなりました。クジラと同じです。」

「クジラも足があったのですか？」 右下図の黒→

「ありました。クジラとカバは遠い親戚です。」

「カバですか?!」

「動物は海から陸に上がる進化をしましたが、海に戻った動物もいます。クジラもその一つ。」



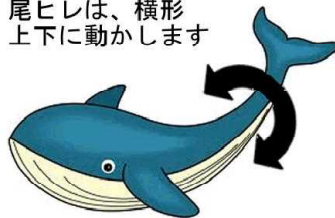
【魚】

尾ヒレは、たて形
左右に動かします



【クジラ】

尾ヒレは、横形
上下に動かします



「魚は体を左右に振って泳ぎますね。クジラは上下です。ドルフィン・キックっていうでしょう？(ドルフィン＝クジラ類のイルカのこと)。」

「あ、そうですね。」

「陸上の動物と同じ動きです。」

*「背骨の使い方が」です。

ニシキヘビとクジラの骨格図中の「→」は、それぞれの足だった骨です。

ニシキヘビでは「かぎ爪」として外から観察できます。今は歩く以外の目的で使われています。

クジラは体の中にあるので、外からは見えません。やがてなくなるでしょう。

ヘビの肋骨の多さはすごい。クジラの尾ヒレには、魚の尾ヒレのような骨がまったくありません。クジラ以外にも海にもどった動物はいます。マナティやアシカ、アザラシ。長い年月がたてばクジラのようになるかもしれません。

